



8月

タック TACの家庭菜園教室



おいしい秋の収穫に向けて

TAC（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などをじっくり分かりやすく解説いたします！

8月はサツマイモにとって生育後半の重要な時期です。この時期の管理が、秋の収穫量や品質を大きく左右します。以下のポイントを押さえて、しっかりと管理しましょう。

①.「つる返し」で養分をイモへ集中させる

サツマイモのつるは、地面に接していると新たに根を張ります。しかしそこに栄養が分散してしまうと、肝心のイモが太りにくくなってしまいます。そのため、「つる返し」と呼ばれる作業が欠かせません。

★つる返しとは？

伸びたつるを持ち上げ、地面から浮かせて根を切る作業です。これにより、養分をイモに集中させることができます。

★マルチ栽培の場合

地面に根が張りにくい分、つるが浮きやすくなりますが、つるが重なりすぎないように整理することで、通気性の確保や病害の予防にもつながります。

②.雑草の除去と病害虫の防除

8月は雑草が勢いよく繁茂する時期でもあります。放置すると病害虫の隠れ家になりやすいため、こまめな除草が重要です。

★注意すべき害虫・病気

- ・ヨトウムシ類（特にハスモンヨトウ）
- ・立枯病などの土壌病害



★防除のポイント

- ・葉や株元をよく観察し、早期発見・早期対策を心がけましょう。
- ・ハスモンヨトウを見つけた場合は、速やかに「プレバソンフロアブル5」や「アフーム乳剤」などを散布しましょう。
- ・立枯病は薬剤での防除が困難なため、発生した圃場では次作を別の場所に移すのが基本です。

③.水やりと追肥の注意点

乾燥時には適度な水やりを行いますが、過湿による根腐れには注意が必要です。また、8月以降の追肥は、つるばかりが伸びてイモが育たない「つるぼけ」の原因になります。追肥は控えましょう。

④.つるの整理で通気性と日当たりを確保

つるが密集していると、風通しが悪くなり病害の原因になります。つるの向きを整理して、日当たりと風通しを良く保つことが、イモの肥大と品質向上につながります。

◆ おいしいサツマイモを育てるために

日々のこまめな観察と、適切なタイミングでの作業が、おいしいサツマイモづくりのカギです。

8月は暑さが厳しい時期ですが、管理を丁寧に行い、秋の豊かな収穫を目指しましょう！



栽培に関する疑問など、お気軽にTAC（タック）までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ

JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433(担当:TAC) 経済課 ☎0284-70-3071
または 北支店(経済)☎0284-43-8880 西支店(経済)☎0284-65-1139